

II がんの罹患状況

1. 罹患数、粗罹患率、年齢調整罹患率及び罹患割合（主要部位別、男女別）

2014年のがん罹患数、粗罹患率及び年齢調整罹患率、罹患割合を、主要部位別、男女別に示した（表2）。

全がん罹患数は、男8,825、女6,519、計15,344人であった。人口10万人当たりの粗罹患率は男955.5、女651.3、日本人モデル人口による年齢調整罹患率は、男486.1、女358.4であった。

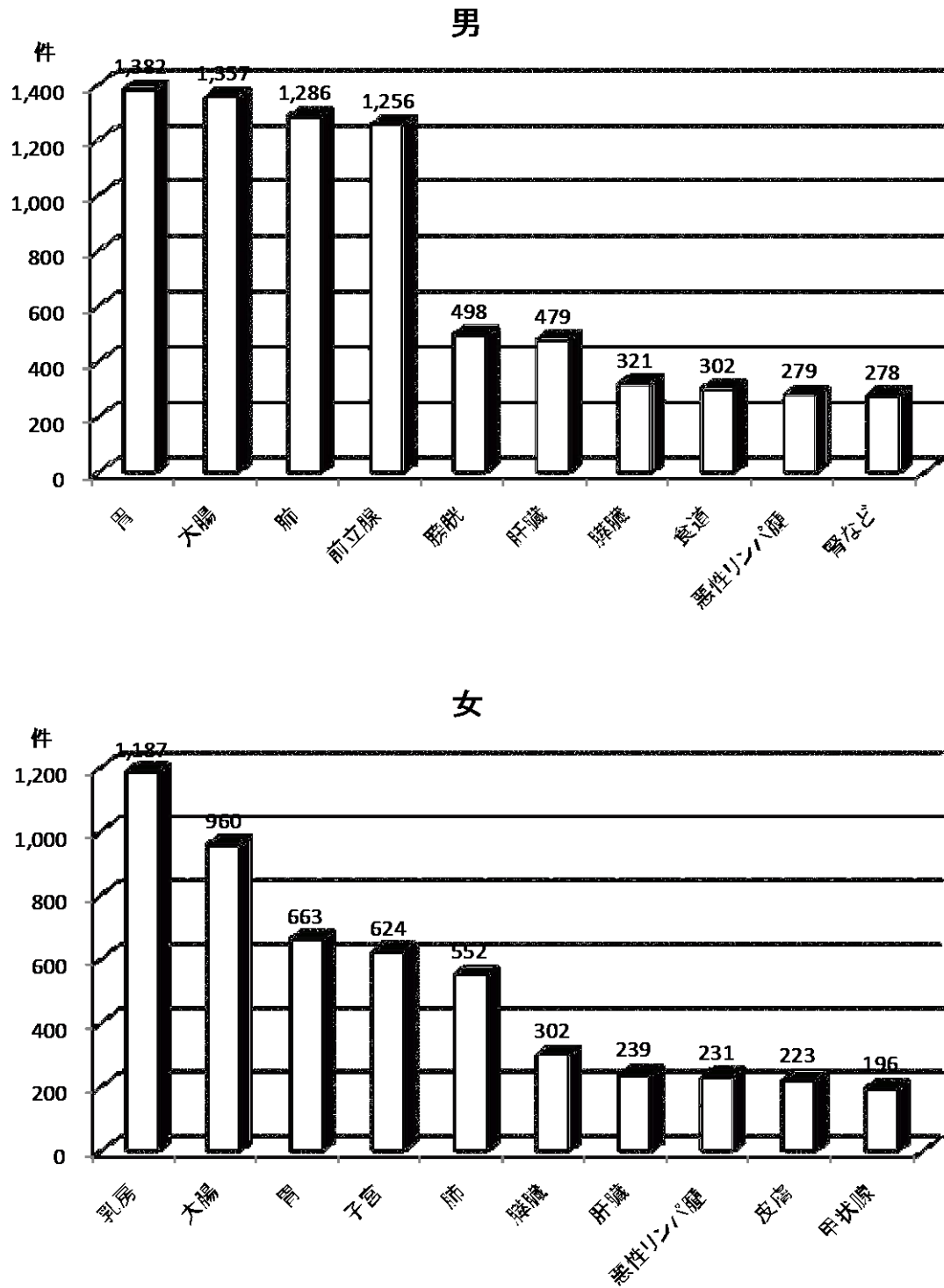
男については粗罹患率の1位は胃、2位は大腸（以下、大腸とは結腸と直腸を合わせた症例とする）、年齢調整罹患率の1位は大腸、2位は胃となっており、消化器系のがんの罹患率が高くなっている。

女については粗罹患率、年齢調整罹患率ともに乳房が1位、2位は粗罹患率では大腸、年齢調整罹患率では子宮となっており、女性特有のがんの罹患率が高くなっている。

部位	罹患数			粗罹患率 (人口10万対)		年齢調整罹患率 日本人人口 ^(*)		罹患割合 (部位/全部位)	
	男	女	計	男	女	男	女	男	女
								男	女
全部位	8,825	6,519	15,344	955.5	651.3	486.1	358.4	100.0%	100.0%
口腔・咽頭	223	109	332	24.1	10.9	13.3	5.0	2.5%	1.7%
食道	302	57	359	32.7	5.7	17.4	2.5	3.4%	0.9%
胃	1,382	663	2,045	149.6	66.2	72.1	27.3	15.7%	10.2%
大腸	1,357	960	2,317	146.9	95.9	79.7	44.2	15.4%	14.7%
┌ 結腸	827	652	1,479	89.5	65.1	47.5	28.6	9.4%	10.0%
└ 直腸	530	308	838	57.4	30.8	32.2	15.6	6.0%	4.7%
肝臓	479	239	718	51.9	23.9	26.8	8.7	5.4%	3.7%
胆嚢・胆管	142	182	324	15.4	18.2	6.4	5.3	1.6%	2.8%
膵臓	321	302	623	34.8	30.2	17.7	11.0	3.6%	4.6%
喉頭	89	6	95	9.6	0.6	4.8	0.4	1.0%	0.1%
肺	1,286	552	1,838	139.2	55.1	66.4	23.6	14.6%	8.5%
皮膚 ^(*)	209	223	432	22.6	22.3	10.4	7.1	2.4%	3.4%
乳房	11	1,187	1,198	1.2	118.6	0.6	88.3	0.1%	18.2%
子宮	-	624	624	-	62.3	-	58.5	-	9.6%
卵巣	-	151	151	-	15.1	-	10.3	-	2.3%
前立腺	1,256	-	1,256	136.0	-	63.3	-	14.2%	-
腎など	278	131	409	30.1	13.1	16.1	6.2	3.2%	2.0%
膀胱	498	144	642	53.9	14.4	25.6	5.3	5.6%	2.2%
脳・神経系	94	143	237	10.2	14.3	7.2	8.5	1.1%	2.2%
甲状腺	69	196	265	7.5	19.6	5.8	15.0	0.8%	3.0%
悪性リンパ腫	279	231	510	30.2	23.1	16.6	11.2	3.2%	3.5%
多発性骨髄腫	64	52	116	6.9	5.2	3.1	1.8	0.7%	0.8%
白血病	102	60	162	11.0	6.0	8.5	4.0	1.2%	0.9%
日本人人口 ^(*) : 1985年日本人モデル人口									
皮膚 ^(*) : 皮膚の黒色腫を含む									

2014年における罹患数上位10部位を男女別にグラフで示した（図2）。

図2 部位別罹患数2014年（上位10部位）



2. 岡山県と全国の罹患率の比較（主要部位別、男女別）

年齢調整罹患率を岡山県（2014年、2013年値）と全国（2013年推計値）で比較した（表3、図3、4）。

2013年の岡山県の年齢調整罹患率を全国値（日本人モデル人口）と比較すると、全部位では男は1.11、女は1.15と男女とも全国値を上回っている。

また男では膀胱（2.09）、脳・神経系（1.93）、甲状腺（1.45）、女では脳・神経系（3.43）、子宮（1.96）、膀胱（1.54）などが全国値に比べ高かった。

	年齢調整罹患率							岡山/全国 ^(*2)	
	男			女			岡山 2013	全国 ^(*2) 2013	
	岡山 2014	岡山 2013	全国 ^(*2) 2013	岡山 2014	岡山 2013	全国 ^(*2) 2013			
全部位	486.1	482.9	436.1	358.4	353.8	307.8	1.11	1.15	
口腔・咽頭	13.3	13.0	13.0	5.0	4.1	4.7	1.00	0.87	
食道	17.4	16.4	17.1	2.5	2.8	2.8	0.96	1.00	
胃	72.1	74.8	77.8	27.3	26.9	28.3	0.96	0.95	
大腸	79.7	82.4	67.7	44.2	48.5	40.6	1.22	1.20	
{ 結腸	47.5	49.7	40.9	28.6	33.2	28.0	1.21	1.18	
{ 直腸	32.2	32.8	26.7	15.6	15.4	12.6	1.23	1.22	
肝臓	26.8	26.8	23.5	8.7	8.1	8.1	1.14	1.00	
胆嚢・胆管	6.4	8.1	8.8	5.3	5.8	5.6	0.92	1.03	
膵臓	17.7	14.0	16.0	11.0	9.7	10.0	0.88	0.97	
喉頭	4.8	4.5	4.0	0.4	0.4	0.3	1.13	1.33	
肺	66.4	64.4	62.3	23.6	21.3	24.8	1.03	0.86	
皮膚 ^(*3)	10.4	10.1	8.3	7.1	7.4	5.8	1.21	1.27	
乳房	0.6	0.5	0.4	88.3	84.3	85.6	1.25	0.99	
子宮	-	-	-	58.5	57.1	29.1	-	1.96	
卵巣	-	-	-	10.3	9.1	11.4	-	0.80	
前立腺	63.3	62.4	60.7	-	-	-	1.03	-	
腎など	16.1	16.8	15.7	6.2	6.2	6.1	1.07	1.02	
膀胱	25.6	24.0	11.5	5.3	4.0	2.6	2.09	1.54	
脳・神経系	7.2	6.2	3.2	8.5	8.2	2.4	1.93	3.43	
甲状腺	5.8	7.2	5.0	15.0	19.3	13.3	1.45	1.45	
悪性リンパ腫	16.6	16.4	13.2	11.2	11.9	9.8	1.25	1.21	
多発性骨髄腫	3.1	2.8	3.1	1.8	1.8	2.0	0.91	0.91	
白血病	8.5	6.7	7.7	4.0	3.7	5.0	0.87	0.75	
日本人人口 ^(*1) : 1985年日本人モデル人口									
全国 ^(*2) : 厚労省がん対策推進総合研究事業「全国集計と資料活用によるがん動向把握」班が34府県のデータから推計した最新値									
皮膚 ^(*3) : 皮膚の黒色腫を含む									

図3 年齢調整罹患率2013年(男)

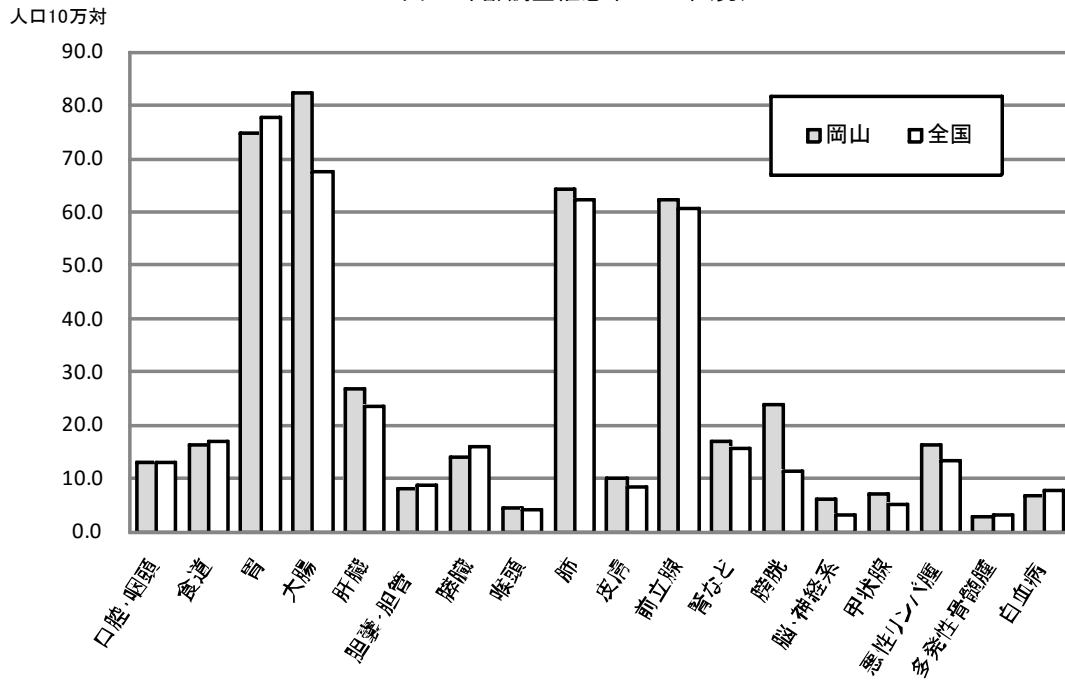


図4 年齢調整罹患率2013年(女)

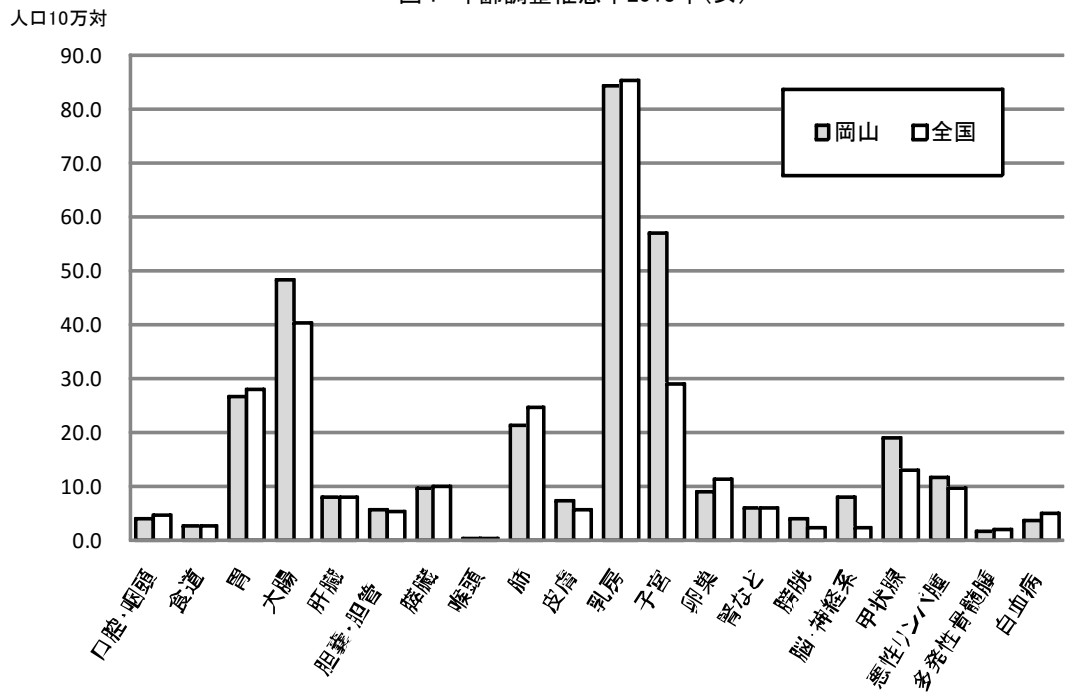


図5に岡山県の全部位の5歳年齢階級別・性別罹患率のグラフを2013年全国推計値とともに示した。

図6に全部位の年齢調整罹患率（標準人口：1985年日本人モデル人口）の1996年～2014年の年次推移を男女別に全国値（1996年～2013年推計値）とともに示した。男女ともに、年齢調整罹患率は全国に比べ岡山は高くなっている。

図5 全部位の年齢階級別罹患率2013年(男女)

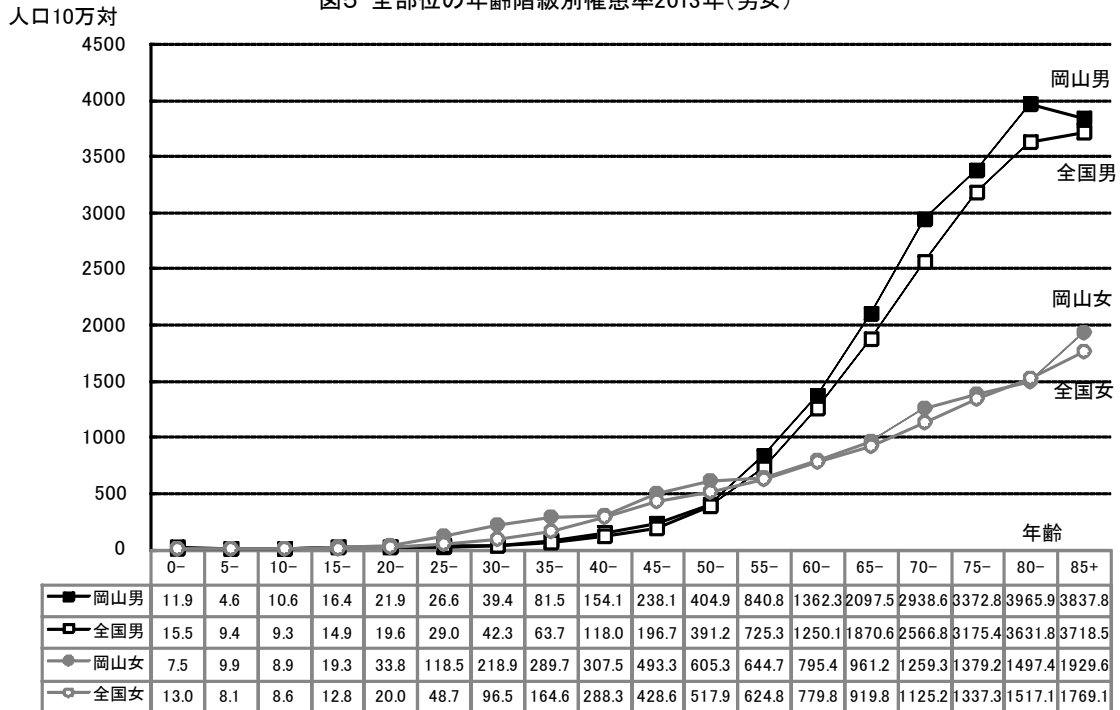
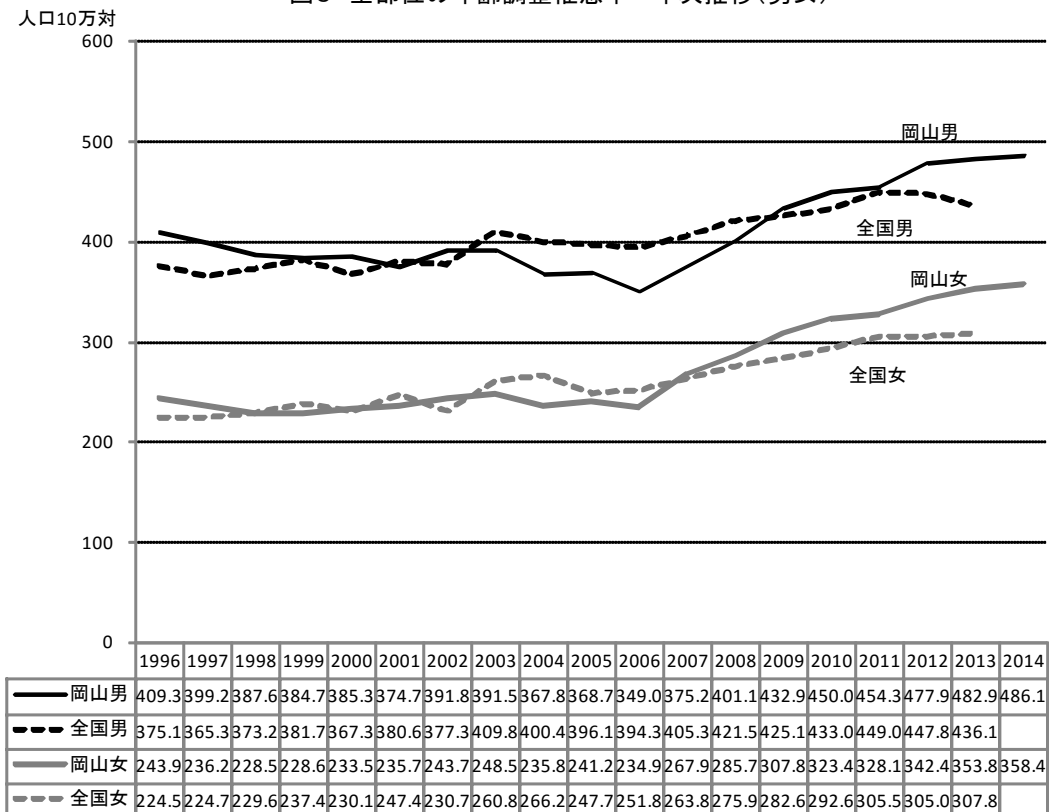


図6 全部位の年齢調整罹患率 年次推移(男女)



3. 年齢階級別罹患率

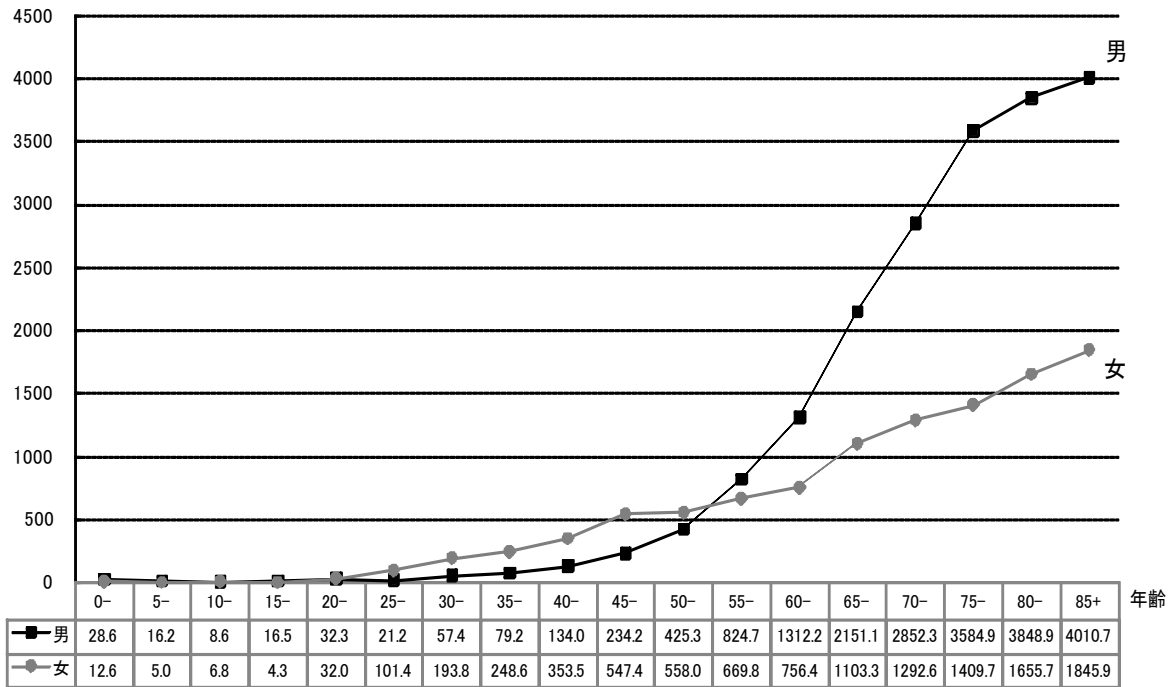
(1) 全部位の年齢階級別罹患率

全部位の年齢階級別罹患率を男女別に示した（図7）。

男女ともに年齢が高くなるにつれ、がん罹患率が高くなっている。男の罹患率は50歳を過ぎる辺りから急増する傾向にあり、年齢が高くなるにつれて男女の罹患の比率の差が大きくなっている。

人口10万対

図7 全部位の年齢階級別罹患率 2014年(男女)



(2) 特定部位別の年齢階級別罹患率

特定部位の年齢階級別罹患率を男女別に示した(図8、9)。

男は50歳台からいずれのがんも罹患率が増加している。肺がん、胃がん、大腸がんの罹患率は70歳台を超えても上昇している。

女では乳がんの好発年齢である40~60歳台までの罹患率が高くなっている。また、子宮がんの罹患率は子宮頸がんの好発年齢とされる20歳台から増加して、30歳台にピークになっている。

図8 年齢階級別罹患率 2014年 <特定部位> -男-

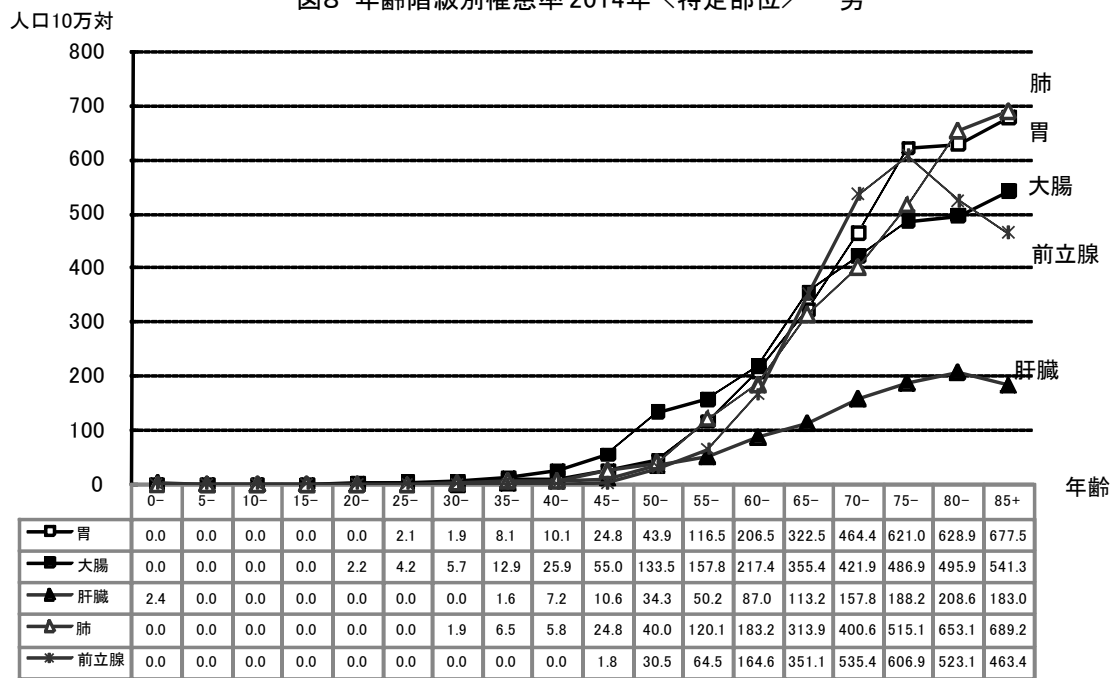
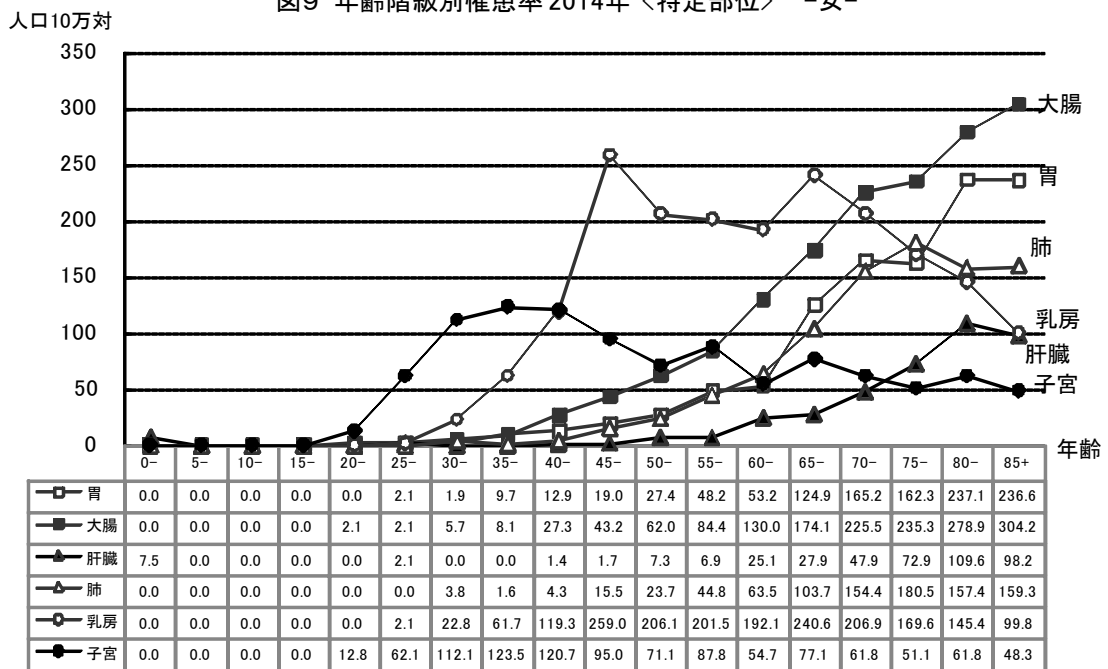


図9 年齢階級別罹患率 2014年 <特定部位> -女-



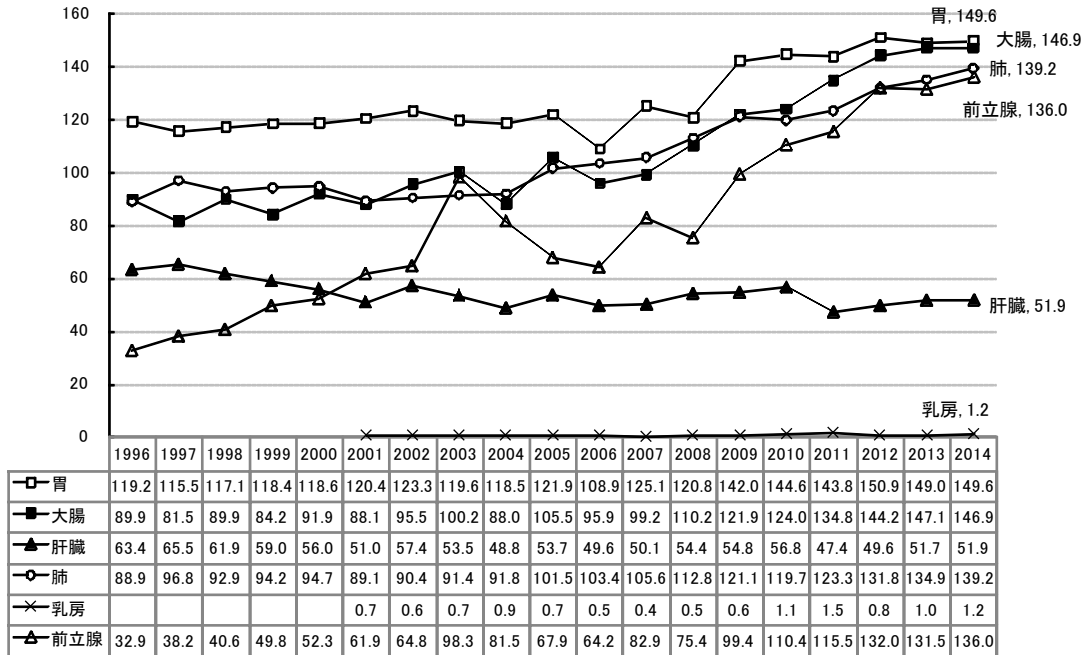
4. 男女別の主要部位別罹患率の年次推移

男の主要部位別罹患率の推移を粗罹患率と年齢調整罹患率とで示した（図 10、11）。

年齢調整罹患率をみると大腸がん 79.7、胃がん 72.1 が他の部位に比べて高く、前立腺がんの罹患カーブは 2008 年から 2012 年まで上昇傾向にある。大腸がんは 2011 年から 1 位となっている。

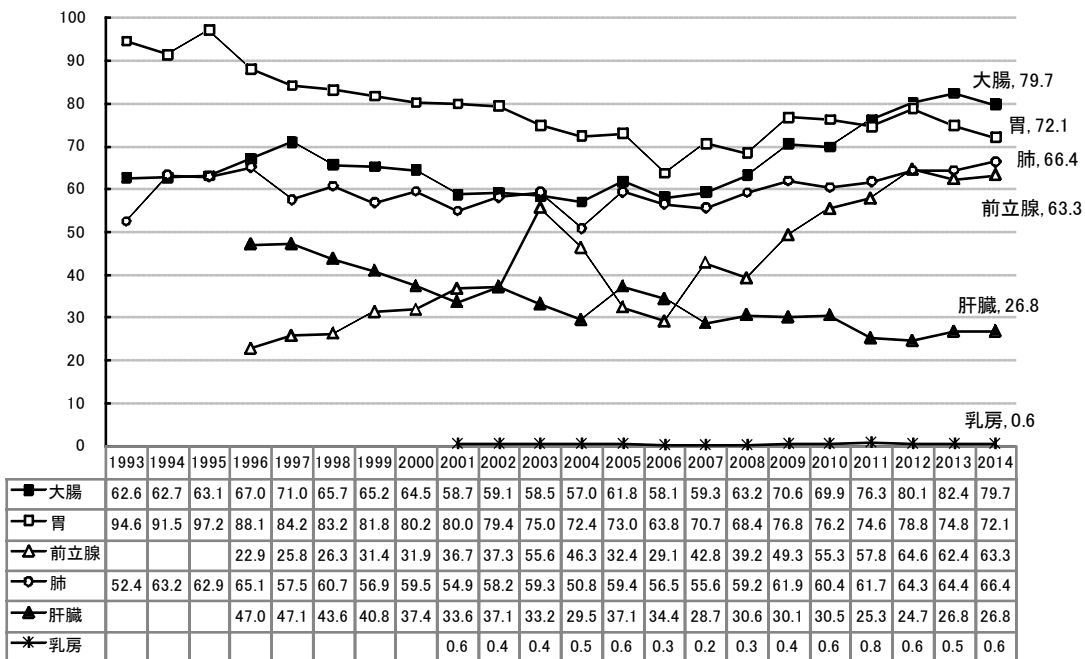
人口10万対

図10 粗罹患率の年次推移—主要部位別、男



人口10万対

図11 年齢調整罹患率の年次推移—主要部位別、男



女の主要部位別罹患率の推移を粗罹患率と年齢調整罹患率とで示した（図12、13）。

年齢調整罹患率を見ると年次をおって乳がんの罹患率が高くなっており、2014年は人口10万対88.3と他のがんと比較すると圧倒的に高くなっている。

